

第 3 回熱海市伊豆山復興計画検討委員会

意見内容と対応方針案

日時：令和 4 年 4 月 22 日（金）15：00～16：20

場所：熱海市役所 第 1 庁舎 4 階 第 1・2 会議室

NO	意見内容	分野	事務局回答	事務局対応
議題 1 復興基本計画（案）について				
1	<ul style="list-style-type: none"> 二度とこのような災害を起こさないという文言を加え、それを柱として今後の安全・安心のまちづくりに対する方向を定義すべきだと思う。 今後の熱海市の安全・安心を考える上で、岸谷地区・逢初川地区をモデル地区として安心安全対策の情報伝達と避難手段の体制の構築をしてほしい。 <p>【議事録 P 8】</p>	基本理念について	<ul style="list-style-type: none"> －（ご意見として伺い、検討） 	<ul style="list-style-type: none"> 復興基本計画（第 3 章基本理念を中心に）記載
2	<ul style="list-style-type: none"> 警戒区域未来の会で復興の基本理念を「早く帰ろう。未来に繋ごう、安全な伊豆山」として考えた。 <p>【議事録 P 9】</p>	基本理念について	<ul style="list-style-type: none"> 復興計画は 5～10 年先まで行われる計画であるため、出来上がる時点では、早く帰ろうが皆さんの一番の関心ごとと思うが、帰還後も、伊豆山の復興・再生は続くことから、早く帰ろうの意味をさらに議論する必要があり意見として承る。 	<ul style="list-style-type: none"> 復興基本計画（第 3 章基本理念）の考え方の参考とする
3	<ul style="list-style-type: none"> 安全・安心と魅力と絆の中に、「伊豆山」という言葉を入れた方が、地域の方々が自分たちのものという認識が強まると思う。 <p>【議事録 P 9】</p>	基本理念について	<ul style="list-style-type: none"> －（ご意見として伺い、検討） 	<ul style="list-style-type: none"> 復興基本計画（第 3 章基本理念）の考え方の参考とする

NO	意見内容	分野	事務局回答	事務局対応
4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 用地交渉を行う際に、岸谷地区に災害があったことを50年先に伝えるもの（公園や石積み等）を作ってほしい。 <p>【議事録P9～10】</p>	復興まちづくりについて	<ul style="list-style-type: none"> ・ －（ご意見として伺い、検討） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 復興まちづくり計画にて検討
5	<ul style="list-style-type: none"> ・ 早期帰還に向けた住宅の対策を講じてほしい。帰還する住民が少なくなるとは復興に支障が出てしまう。 <p>【議事録P10】</p>	基本目標について	<ul style="list-style-type: none"> ・ －（ご意見として伺い、検討） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 復興基本計画（第4章、基本目標2）に記載
6	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今回の復興計画の役割や位置づけが伊豆山地区の復興を進める上で非常に重要。 ・ 復興基本計画では、基本的な方針を示したうえで、復興まちづくりの事業の基本方針を示すような関係にあることを記載した方がよい。 ・ 復興まちづくり計画がそれぞれの事業に繋がることを計画の構成に記載するべきであり、文言の表現は非常に大切。 <p>【議事録P10～11】</p>	計画の構成について	<ul style="list-style-type: none"> ・ －（ご意見として伺い、検討） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 復興基本計画（第1章、5.計画の構成）に記載
7	<ul style="list-style-type: none"> ・ 復興基本計画は起こった災害に対処するだけの計画ではなく、将来この伊豆山地区が継続して安全な地域であること、従来以上に地域の方々が住みやすいこと、観光が大きな役割を担うことを含めた計画であるため、この計画がどのような課題に対処していくのか記載するべき。課題を記載しなければ、ストーリーとして成り立たなくなってしまう。 <p>【議事録P11】</p>	復興基本計画の構成	<ul style="list-style-type: none"> ・ －（ご意見として伺い、検討） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 復興基本計画（第2章と3章の間に追加）に記載

NO	意見内容	分野	事務局回答	事務局対応
8	<ul style="list-style-type: none"> 基本方針1（安心なまちづくり）が地区の住民を中心に自主防災組織の体制づくり等の記載となっているが、喫緊の課題としては、この地域の安全の確保を行わなければならない。基本方針2（安全なまちづくり）が前に来るべきであり、その条件が整った際に地域の防災体制や意識等が出てくると思うので、順序が大切。 流域の管理においては、安心・安全を管理していく仕組みを整えることが長期的な課題になる。 <p>【議事録P11～12】</p>	基本方針、主要な施策について	<ul style="list-style-type: none"> （ご意見として伺い、検討） 	<ul style="list-style-type: none"> 復興基本計画（第4章復興に向けた取組）に反映
9	<ul style="list-style-type: none"> 復興のまちづくり計画の基本目標2速やかな生活再建に住まいへの支援と生活の支援があるが2、3年後に被災者が戻った際に、再建するための支援要素は入っているのか。 <p>【議事録P13】</p>	期間後の生活再建について	<ul style="list-style-type: none"> 現状では、計画区域が解除され自宅に戻った際の補助金や助成金等のお金の支援は現在議論中である。 	<ul style="list-style-type: none"> 回答済み
10	<ul style="list-style-type: none"> 速やかな生活再建の2本柱を細かく見ると、戻ってからの内容が1つもないように思う。再建修繕や復旧・支援というかたちで、基本目標を1つ増やしていただけたら、被災者は安心すると思う。 <p>【議事録P13】</p>	基本目標について	<ul style="list-style-type: none"> 期待の言葉ですが、まずはお預かりさせていただき、検討していきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 復興基本計画（第4章基本目標2）に記載
議題2 復興まちづくり計画について				
11	<ul style="list-style-type: none"> 復興について、まだまだ道路ができて川が整備されて、なかなか時間がかかりそうだが、市が新しい土地をどの程度確保できるかにより変わると思う。 	復興まちづくりについて	<ul style="list-style-type: none"> 一人一人の地権者、被災者の方々にご意向を確認していきたい。復興の一つとして新たな土地に移り住みた 	<ul style="list-style-type: none"> 回答済み

NO	意見内容	分野	事務局回答	事務局対応
	<p>代替地も含めて早期に把握してほしい。町内会でも、できる限り協力する。</p> <p>【議事録P15】</p>		<p>いという方はとても多い。その方々の復興と生活再建のためにこのような情報を1つでも多くいただくと大変有難い。</p>	
12	<ul style="list-style-type: none"> ・復興基本計画と復興まちづくり計画の整合が取れていない。基本計画の記載に基づき、土地利用と基盤整備についてまちづくり計画をまとめていくべき。 ・資料 4-1 復興まちづくり取組方針（案）は、基盤整備から事業的な部分が混同している。個々の分野別の事業計画をしっかりと位置づけ、方針を出していかなければ復興まちづくりの取組方針が、体系的につながらない。 ・資料 4-2 においては、実際に被災し、災害の危険がある区域を中心に、周辺の地域と一体的に考える必要がある。地域の将来像なので周り一体となったものを表すべき。 ・上流部を含めて、土地利用、基本的な方向性をどのようにするのかということ、まちづくり計画の中で触れておくべき。体系的な表現をしなければ、今後進めていく個々の事業の方針になっていかない。もう一度、意識し直し、まとめていただきたい。 <p>【議事録P15～16】</p>	<p>基本計画との整合性について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ご指摘いただいた内容について、改めて詳しくお伺いし、検討していきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・復興まちづくり計画にて検討

NO	意見内容	分野	事務局回答	事務局対応
13	<ul style="list-style-type: none"> ・ 逢初川の岸谷地区中心の復旧・復興は他の地区でのモデルになることを示して、安心安全の確保・速やかな生活再建・創造的復興につなげるべき。 <p>【議事録 P 16】</p>	復興まちづくりについて	<ul style="list-style-type: none"> ・ 十分検討していかなければならないところだと考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 復興基本計画（第4章基本目標1）に記載
14	<ul style="list-style-type: none"> ・ 参考資料の地図の中央部の赤い線（車線改修イメージ）があるが、4メートル道路を左右につくるといふ計画だとわかるのだが、一番下の途切れているのは暗渠なのか、6メートル道路にするのか、どのようにするのか。 <p>【議事録 P 16】</p>	復興まちづくり（道路）について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県の河川、市の道路計画として示した図であるが、川の青い真ん中の部分は開渠、赤い線で道路を示している。 ・ その先の、下流部の赤い線が切れてしまっているところが、暗渠となっている。JRの新幹線と JR 東海道線を越えて国道までは検討中になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 回答済み
15	<ul style="list-style-type: none"> ・ 岸谷本線はわかるが、岸谷1号線、2号線、3号線、4号線、的場1号線がどの場所かわかる地図をお願いしたい。 <p>【議事録 P 17】</p>	復興まちづくりについて	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次の段階で具体的に示せるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 復興まちづくり計画に記載
16	<ul style="list-style-type: none"> ・ 避難経路の整理が入っていなかった。逃げ場のない地区もあるので、避難経路を考えていただきたい。 <p>【議事録 P 17】</p>	復興まちづくりについて	<ul style="list-style-type: none"> ・ 避難する段階もしっかりと検討していきたいと考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 復興まちづくり計画にて検討
17	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今回被災者の方から聞いた状況や要望がどこに反映されているのか。 <p>【議事録 P 17】</p>	復興計画の進め方について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特に被災者・地域の皆様から言われていることが道路環境だと感じている。これまでの既存道路の問題になっていた狭い公道、使いづらかったところが皆様のご意見として挙がっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 復興基本計画（第2章地域の声）に記載 ・ 復興まちづくり計画にて検討

NO	意見内容	分野	事務局回答	事務局対応
18	<ul style="list-style-type: none"> ・ 194人にヒアリングを行うだけでも変わらと思う。 【議事録 P 18～19】 	復興計画の進め方について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地権者の方々には、4月から個々にお伺いして、生活再建について聞いている。4月末まででも 30～40 件のアポイントが取れている。5月中までには、皆様のご意見を一通りまとめ、2回、3回と続けていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 回答済み
議題3 計画策定のための住民意見収集ワークショップについて				
19	<ul style="list-style-type: none"> ・ 意見を吸い上げるためのワークショップ、とてもいいことだと思う。当日の人員の制限についてはどのように考えているのか。 【議事録 P 20】 	ワークショップの実施方法について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人員については、参加者の募集の方法を現在最終的に詰めているところ。会場を市役所内の会議室にする都合上、30～50 人で実施できればと考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 回答済み
20	<ul style="list-style-type: none"> ・ ワークショップの会場は市役所と説明があったが、足の不自由な方もいると思うが、どのように考えているか教えて欲しい。地域の中で実施するという考えはないか。 【議事録 P 20】 	ワークショップの実施方法について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原則、市役所として説明をしたところだが、2回目以降はご意見を踏まえて、伊豆山の JA 跡地等考えられると思うので、またご相談させて頂きたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 回答済み
21	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民意見を反映したものにすることも、ある程度の専門的なファシリテーターも必要であることと、整理の仕方の枠組みを検討しておき、復興計画の適切などころに反映してほしい。 【議事録 P 20】 	ワークショップの実施方法について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 調整中ではあるが、ただいまのご意見についても十分に注意しながら検討を進めていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ワークショップ実施計画に反映
22	<ul style="list-style-type: none"> ・ まちづくりの専門家です都市整備をどのように進めていくかの知識を有したファシリテーターが来るとは思いにくいと 	ワークショップの実施方法について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 参加者の自由な意見を頂戴する。次にその中から実際に反映させるもの、反映できないも 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 回答済み

NO	意見内容	分野	事務局回答	事務局対応
	<p>ころがある。その際に市の関わり方が気になるところで、丸投げと言われなかが心配。</p> <p>【議事録 P21】</p>		<p>のを整理していく。また、当日は、市の職員も同席していくこととなる予定でいる。これを担保して進めていきたい。</p>	
23	<ul style="list-style-type: none"> ワークショップは、被災者全員を呼ぼうとすると相当数になると思うが、いくつかのグループに分けられるということでのよいか。 愚痴が出てきた際に、元気にまちをつくっていかう話をしていくのは酷な状況で、批判が出ることもあると思う。 <p>【議事録 P21】</p>	<p>ワークショップの実施方法について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ワークショップは復興計画に反映するものとして、事務局としても前向きな意見が出てくることに期待している。愚痴や不安ごと、悩みごとをお聞きする機会はこの場とは別に設けるほうが話しやすいということと思うので、分けて考えていきたい。方法については別途検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> 回答済み
24	<ul style="list-style-type: none"> ワークショップの内容が復興基本計画や復興まちづくり計画に反映される中で、今日の議論にもなった大本のテーマのようなところにも関わってくるのか。 <p>【議事録 P22】</p>	<p>ワークショップの実施方法について</p>	<ul style="list-style-type: none"> 現在議論している復興基本計画のローガンを、ワークショップでも同じローガンにできればと考えている。ワークショップでは、より生活に近い部分の議論が中心となり、復興基本計画では、その根底となる理念的なものを述べていく。これを踏まえて生活再建に向けたまちづくり、地域の再生について意見を出し合い議論し、分野ごとにまとめていければと思っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 回答済み

以上